

これってどんな意味？仏教のことば

お盆の起源は、お釈迦さまの弟子が「餓鬼道」に落ちた母を救う物語があります。餓鬼道とは、生まれ変わり死に変わりを繰り返す「輪廻」の世界の一つ。人間の世界も含まれ、今の世界で生きているときの行いで、次の生まれが決まり、どの世界にも苦しみがあるとされます。

仏教の目指すところは、この苦しみから離れることですが、この世でそれを成し遂げるのは難しいといえます。

そのような私たちのために用意された理想的な修行の場が極楽浄土であり、そこへ往くためにとなえるのがお念仏です。

りんね
「輪廻」

最近こんなお悩み相談をよく受けます！

墓守がいなくて
将来が心配

身寄りがない・・・
お墓はどうしよう

永代供養のお墓を
探しています

お墓が見つからず
納骨がまだ・・・

源昌寺は、そんな悩みに寄り添うことができるようになりました！

永代供養墓・共同墓「無量壽」完成！

「将来墓守がない」「身寄りがない」「永代供養のお墓を探している」などなど。色々なお悩みをよく受けるようになりました。この悩みは深刻な悩みです。

源昌寺は、そういった悩みに真摯に向き合い、また受け入れができないものか。ずっと考えてきました。

令和5年5月末に永代供養墓・共同墓「無量壽」が完成をいたしました。将来、墓守がいなく永代供養をお考えの方など。ご相談いただければ、詳しい内容のパンフレットをお送りします。



御忌(ぎよき)法要&歴史講座

智者のふるまいをせずして ただ一心に念仏すべし

法然上人がお浄土に旅立たれる2日前にお書きになった「一枚起請文」の一節です。たとえ仏教を極めたとしても、決しておごり高ぶるのではなく、ただひたすらに念仏してほしい。法然上人の最後の願いであったことは、言うまでもありません。



4月22日(土) 10:00より御忌法要を執り行いました。ご上人のご遺徳を偲び、心新たにお念仏の信と行を実践いたしました。



改めて知る・・・ 源昌寺の歴史と文化



法要の後は、鹿島市民図書館の学芸員、高橋研一氏を招いて、源昌寺の歴史と文化について皆さんと一緒に学習をいたしました。

近隣で発生した安政の大火で本堂が焼け落ちましたが、先人のたゆまない努力と檀家各家のご先祖様が必死に寺の再建と維持に努めて来られた深い歴史を知り胸が熱くなりました。

島原からの歴史と鎌倉時代から江戸時代に起こった色々な文化や浄土宗の伝播など。大変勉強になるいいお話を聞けました。また、新たな志を持って、先人に負けないように頑張っていかなければ。そんな思いが沸き上がって来たのは私だけでしょうか。たくさんの御参詣、ありがとうございました。